

# つなんまち



## 6月定例議会

グリーンピア津南購入.....2P

平成16年度津南病院決算認定.....5P

一般質問10名.....6P～10P

シリーズ・私もひと言.....12P

# 条例改正

## 障害者へのホームヘルパー利用料改正

利用者世帯の階層区分	利用者等負担額	
	通常帯、早朝・夜間帯 1時間あたり	深夜帯 1回あたり
生計中心者の前年所得税課税年額が10,000円以下の世帯	250円	200円
生計中心者の前年所得税課税年額が10,001円以上30,000円以下の世帯	400円	350円
生計中心者の前年所得税課税年額が30,001円以上80,000円以下の世帯	650円	550円
生計中心者の前年所得税課税年額が80,001円以上140,000円以下の世帯	850円	700円
生計中心者の前年所得税課税年額が140,001円以上の世帯	880円	750円

精神障害者のホームヘルパー利用料に深夜帯料金が加わりました。生計中心者の前年度所得税が非課税の世帯は無料です。

### 深夜帯の料金設定

利用時間帯は、次のとおりです。

- ・通常帯 午前8時から午後6時まで
- ・早朝、夜間帯 午前6時から午前8時まで及び午後6時から午後10時まで
- ・深夜帯 午後10時から翌日の午前6時まで

### 議会推薦 農業委員決まる

氏名 樋口久子氏  
住所 津南町大字秋成一三七一  
(反里口)  
経歴 新潟県農村地域  
生活アドバイザー  
(平成七年認定)  
津南町生活改善グループ  
連絡会会長

平成17年第2回定例議会が6月13日から16日までの4日間開催され、10名の議員が一般質問を行いました。議案は町条例の一部改正、平成17年度一般会計と特別会計の補正予算、請願・陳情、平成16年度津南病院事業会計の認定など、25議案を審議し可決しました。

## 6月 定例議会

# グリーンピア津南取得

## 総額 2億2,477万6千円

一般会計	6,350万2千円を追加 55億1,350万2千円
老人保健特別会計	538万5千円を追加 16億161万1千円
簡易水道特別会計	500万円を追加 3億1,670万3千円
下水道事業特別会計	1,500万円を追加 7億5,002万9千円

**一般会計**  
グリーンピア津南取得に伴う即納金(取得価格の2割と消費税805万円)として4,905万円が計上され、9月末に支払われます。残りの金額は10年分割で支払われます。新規事業創出への補助金として60万円、これは湿り空気により薬品等使用せずに手指や種子、衛生器具等の消毒を行

### 補正予算

う器具の開発費用となります。本年全国12カ所で行われる調査の1カ所として、マウンテンパーク周辺における森林セラピー(森林による自然治療、療法)地域認定の予備調査費の負担金100万円、町内小学校(6校)警備を警備会社に委託141万8千円など6,350万2千円が追加補正となりました。

**老人保健**  
一般会計への繰り出し金305万8千円など合計538

万5千円の追加補正となりました。  
**簡易水道**  
秋成、反里口水道の本管布設替工事費に500万円の追加補正が行われました。  
**下水道事業**  
秋成、米原地区の事業に1,500万円が追加補正されました。



### 事業収益

医業収益は前年度決算比0.3%増の16億9,639万6千円、医業外収益2.8%減の1億9,895万9千円、介護保険収益41.7%減の131万5千円であり、収益全体では0.05%減の18億9,667万1千円となりました。

### 事業費用

医業費用は前年度決算比2.1%増の19億950万5千円、医業外費用12.5%減の2,415万円、介護保険料費用が34.0%減の89万9千円となりました。費用全体では1.8%増の19億3,455万4千円となりました。

### 収支決算

経常損益で3,788万2千円の赤字決算であり、過年度損益を加算すると4,386万1千円の純損失となりました。前年度に比較し、経営改善に課題を残しました。

### 資本的収支

中越大震災の影響で、災害復旧費が高まりました。また、医療機器及び備品の整備の他、浄化槽の跡地整備工事も実施しました。

### 患者の動向

入院で前年度比9.0%増の34,279人、外来では0.3%減の84,428人となりました。入院では療養病床の導入と診療体制の充実が反映し患者増となるも、外来は薬の長期投与が可能となり、再診患者数が伸び悩みました。

### 今後の課題

非常勤医師での診療体制が充実したこと等による費用増が見られます。今後も引き続き常勤医師の確保に努めるとともに、予防医学、往診、訪問看護、生活習慣病対策等の充実を図り、待ち時間の短縮等での患者サービスの向上に努め、より一層の健全経営を目指すことが求められます。

患者総数は、入院3万4,279名、外来8万4,428名の利用がありました。非常勤医師の割合が増えたこと、診療報酬が1.05%引き下がったこと、下水道の使用料・

医療機械のリース代の増加等により、赤字決算となりました。昨年10月からの延長外来は一回平均8人、土曜診療も50〜60人が受診。予防医学では、出前講座を年35回、生活

習慣病は8回開催し70人が参加しています。今後も引き続き診療体制充実のため、整形外科医の常勤化に努めていただきます。

## 常勤医師体制の充実を

### 平成16年度津南病院決算を認定



入浴後の整髪、耳そうじをしてもらっている患者（療養病床）

## 請願・陳情・意見書

### 30人学級の実現をはじめとする教育予算の充実を求める請願

請願者 新潟県教職員組合 十日町市中魚沼郡支部  
執行委員長 田村晃夫  
書記長 中町 毅  
採択 意見書提出  
提出先 内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣 総務大臣

意見書要旨  
我が国の教育は、機会均等の実現と教育水準の向上が図られてきた。昨今の教育界では、いじめや不登校、学級崩壊など問題が山積している。食教育、健康教育の重要性等も高まっているなか、30人以下学級を実現し、教職員、学校栄養職員、事務職員等々の適正配置に考慮し、法改正及び、財源措置を要望する。

### 米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める陳情書

陳情者 食とみどり、水を守る新潟県民会議  
議長 目黒吉之助  
採択 意見書提出  
提出先 内閣総理大臣 厚生労働大臣 農林水産大臣 食品安全担当大臣

意見書要旨  
国内でBSE感染牛が確認されて以来、政府は全ての牛の検査及び、特定危険部位の除去、飼料規制の徹底等を行い、信頼回復に努めてき、2003年に米国での発生が確認されてからは、牛肉及び加工品の輸入を禁止してきた。しかし、政府は米国産牛肉等の輸入再開に向け、20カ月齢以下の牛の全頭検査を廃止する動きを進めている。BSEは発生原因も科学的に十分解明されておらず、消費者の不安は増大しており、万全な対策を求める。

### 発議案

#### 分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書

意見書要旨  
地方議会は立法的機能、財政的機能、行政監視機能を充実強化し、議会の役割を果たしていかなければならない。地方議会制度は、議会の招集権が首長にあること、付再議権の行使が首長の認定に委ねられていること、条例や予算が専決処分される例があるなど、二元代表制が採用されながらも、首長との機能バランスを欠き、本来の機能が発揮されないため、分権時代に対応した新たな地方議会制度の構築を要請する。

### 義務教育国庫負担制度の現行維持を求める請願

請願者 新潟県教職員組合 十日町市中魚沼郡支部  
執行委員長 田村晃夫  
書記長 中町 毅  
採択 意見書提出  
提出先 内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣 総務大臣

意見書要旨  
義務教育費を国家が負担している国の、児童生徒の学力は平均的に高く、学力のばらつきも少ない傾向がある。世界各国では、義務教育費を国が保障しようとする動きが主流である。義務教育費国庫負担制度は、国民として必要な基礎的資質を培い、教育水準の維持向上や機会均等の確保のためにも必要不可欠であり、現行維持を要望する。

### 遺伝子組み換えイネの栽培実験の中止を求める意見書の提出を求める請願

請願者 新潟県総合生活協同組合  
理事長 渋谷昭彦  
新潟県有機農業研究会  
代表 鶴巻義夫  
NPO魚沼ゆうき  
代表 山岸 勝  
採択 意見書提出  
提出先 内閣総理大臣 農林水産大臣 環境大臣

### 遺伝子組み換え稲の栽培実験中止を求める陳情書

陳情者 新潟県有機農業研究会  
代表 鶴巻義夫  
採択 要望書提出  
提出先 独立行政法人農業・生態系特定産業技術研究機構中央農業総合研究センター  
所長 松井重雄  
北陸センター所長 片山秀策  
(2件一括審議)

意見書要旨  
独立行政法人農業・生態系特定産業研究機構中央農業総合研究センター、北陸センターが実施した、遺伝子組み換え稲の隔離ほ場実験は、人体、生物、環境への影響が懸念され、国民の疑問と不安は大きい。本県は全国有数の米どころであり、風評被害防止のためにも、栽培実験の継続と、新たな実験の中止を求める。

### 発議案

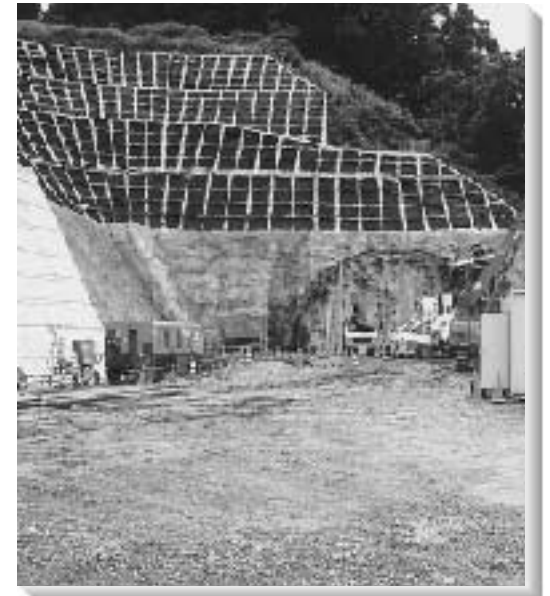
#### 道路特定財源に関する意見書

意見書の要旨  
道路は地方の生活を支える最も重要な社会基盤であり、都市と地方の交流、交易基盤として、地域住民の道路整備に対する要望は強い。道路特定財源制度を堅持し、地方の道路整備が遅れることのないよう要望する。

# 落札率への考え方に疑問

## 町長 工事の品質確保も重要な要素

▶▶▶ 大平 謙一 議員



待望の大倉バイパストンネル着工

**入札改革にワークシェア型指名競争入札を**

**問** 「私が決めた予定価格は適正。落札率100%でも工事の品質が保たれば良い」ということは世の中では通用しない。落札率は低い方がよいのは常識。指名競争入札にワークシェア型の導入の考えは。

**町長** 誤解を与えたという事であればあやまる。基本的に入札については公平性、透明性、競争性の確保とともに公共としての品質の確保である。品質が担保されれば落札率は低いほど良いのは当然である。入札改革にワークシェア型導入は、津南町は規模が小さすぎない。また、

**官製談合の危険も指摘される。グリーンピア貸付金の運用方法は**

**問** グリーンピア津南はいずれ建て替えや大規模修繕が必要。町の大きな負担になるのでは。光善会への貸付金を基金にし、後世の負担にならないようにすべきでは。

**町長** 基本協定のなかで町が施設の更新、大規模改修するということはない。光善会グループが長期に渡り安定運営を行うことを願っている。  
**助役** 貸付料と固定資産税の差額と取得のため年間約4,000万円の財政負担になる。財政にゆとりが出来たら基金を造成していくには異存はない。

# 「構造改革特区」の申請を

町長 この問題は行政主導ではやりにくい

▶▶▶ 村山 久一 議員

**フィリピン女性の農業研修生受け入れを**

**問** 一般質問で提案した農業後継者の配偶者問題、少子化対策のひとつとして、フィリピン女性を農業研修生として受け入れる「構造改革特区」の申請を検討することだが、出会いの場や環境を作るのは行政の責務でもあると思う。人口増加に継ぐのでは。

**町長** この問題は「プライベートル」のこともあり、行政主導での特区はなじみにくい。人口増は大きな指標。自然資源、商工観光などで雇用拡大を図り進めたい。10年後の人口13,000人に向けて努力したい。町の人口は(4月1日現在)平成15年が12,254名、17年が12,063名であり、減少傾向が続いている。



広大な沖ノ原、スイートコーン、大豆管理

**農業委員長** 後継者、配偶者対策は重要な任務のひとつと認識している。フィリピン女性の受け入れを否定するものではないが、問題があると私なりに考えている。外国人女性の結婚を斡旋している業者の講演では、「連れてきて結婚させれば済む」という考えに疑問だ。初婚男性が結婚できないでいる。自分にあつた男性でないと結婚しない女性が増えている。とのこと。男性の意識改革も必要。

# 中等教育学校の開校と町立中学校の統合は

教育長 中等教育校と統合問題はリンクしない

▶▶▶ 津端 真一 議員



平成18年4月から中一生徒もこの門を

**中等教育学校について説明不足だ**

**問** 来年4月スタートの中等教育学校について、津南町小学校区に説明不足だ。1月募集と聞くが、保護者は判断に悩んでいる。説明会を早急に計画し、学習内容、部活、通学等明確に示すべきと思うが。

**教育長** 1月9日に町内対象保護者説明会を行った。広報4月20日号にて告知した。部活は、開校時生徒数が少なく、津南中、津南高校と合同実施も考えている。通学問題は県立に進むのだから自助努力での考えもあり、結論が出ていない。県のスケジュールは、7月1日から津南高校内に準備室を設け、8月中旬に方針を

**町立中学校統合の考えは**

**問** 中等教育学校開校に伴い、町立中学校統合の考えはないか。教育委員会の最優先課題と思うが、前向きに進めては。

**教育長** 統合は規模、人数に関係ない。両校ともしっかり運営している。中等教育学校開校と、学校統合はリンクしない。

# 中等教育学校に栄村の生徒の進学も

教育長 県教育委員会で前向きに検討中

▶▶▶ 島田 福一 議員



栄村の児童も進路選択可能

**児童の進路選択がいじめにつながるのでは**

**問** 中等教育学校の開校により既存中学の生徒減が進む。検討委員会を立ち上げて、校区割りの見直しや統合の時期等の議論が必要。また、既存中学を守ろうと、中等教育学校の進学を思いとどまらせようという動きも懸念される。いじめにつながることも考えられるので、有効な対策を望む。栄村の児童も進学の対象とすべきと思うが、町、県の考えは。

**教育長** 校区割りの変更は現在考えていない。将来の状況を見て町全体を考えていく。  
**問** 防災警報体制整備の進捗と連絡方法は。  
**町長** 国の水防法の改正を基に、町でも対策を立てていく。連絡方法は、広報無線の他に広報車も検討する。  
**集中豪雨に対する対策は十分か**  
**問** 防災警報体制整備の進捗と連絡方法は。  
**町長** 国の水防法の改正を基に、町でも対策を立てていく。連絡方法は、広報無線の他に広報車も検討する。

**防犯には民間・地域の力が大きい**  
 問 昨年12月1日から自治体や民間団体が地域を自主的にパトロールする車に青色回



防犯に青色回転灯を

町長 防犯協会と相談し活用したい

▼▼▼藤ノ木富有 議員

## 地域防犯活動に青色回転灯の活用を

転灯を付けることが可能になった。地域の自主的な防犯活動に役立つものと思われる。積極的に活用すべきではないか。  
 町長 青色回転灯は犯罪抑止効果は高いと思っている。防犯協会と相談し活用したい。

問 住民基本台帳は不特定多数の個人情報閲覧、転記ができる。悪用した事件が県外で起きた。制度見直しを。  
 助役 公共的、公益に資する以外の情報は閲覧させないという法改正を求めたい。

住民基本台帳閲覧制度見直しを

問 住民基本台帳は不特定多数の個人情報閲覧、転記ができる。悪用した事件が県外で起きた。制度見直しを。  
 助役 公共的、公益に資する以外の情報は閲覧させないという法改正を求めたい。

問 義務教育費の一般財源化問題を巡る激しい議論がある。義務教育費は全額国が負担すべきではないか。  
 町長 義務教育はしっかり国がやるべきだ。  
 教育長 教育はマンパワーだ。財政力の大小によって義務教育に差ができないよう国庫負担制度は堅持してほしい。

義務教育国庫負担金削減に反対

## 男女共同参画社会基本法の取り組みは

町長 女性の参画に門戸を閉ざしてはならない

▶▶▶富沢春江 議員



自立のウーマンパワー！商工会女性部研修会

問 少子高齢化社会という男女が共に支え合っていくかなければならない時代が到来した。平成11年に法整備がなされ、行政と国民が果たさなければならぬ役割が定められた。内閣府では、2020年までに社会のあらゆる分野において、女性が指導的地位に占める割合が少なくとも30%程度になるよう期待し、政府針を出している。しかし、津南町の情勢は十分に浸透しているとは思われない。町職員

の採用や管理職への登用、町内各種団体の役員等への女性の数、比率にクォータ制導入の考えはないか。  
 町長 「男女共同参画社会基本法」の理念は崇高なものである。女性の参画に門戸を閉ざすようなことがあってはならない。  
 女性から積極的に社会活動に参加してほしいと思っている。女性の参画は組織団体の活性化につながる。  
 町職員の採用、管理職への登用は、男女別なく公平に実施している。  
 各種団体役員等については法的な問題がなければ可能な限りクォータ制の導入もよいのではないか。

## 高冷地技術センターの活用を

町長 特産品開発を支援、助長

▶▶▶伊林康男 議員



津南農業発展に！高冷地センター

新品種、新栽培技術の開発投資を

問 高冷地農業技術センターでの試験研究成果は、全て全国に発信される。津南独自の産物、栽培方法にならない。他の産地では真似の出来ない特産品づくりのため、新品種や新栽培技術、雪むろの実用化は、農業振興の戦略として重要である。センター、農協園芸課、農産物取り扱い業者の提携によるプロジェクトの創設と投融資の考えは。  
 町長 本町の気候風土にあった作物、他から高く評価される作物が特産品である。高冷地センターには、町や農

協の要望も取り入れ、増収技術等の確立を目指し、試験研究をお願いしている。地域としての特産品開発は生産物の販売を担当する農協が取り組むべきであり、町はそれを支援助長していきたい。

地域農業者の安全管理について

問 就農者の高齢化、機械化による労災発生件数が増加している。労働者災害補償保険特別加入制度の利用のため、事務組合設立の考えは。  
 町長 農業法人等を除く個別農家については、農協でも必要性は認識している。ニーズにより検討したい。

## どろが自立支援か障害者福祉

町長 大幅な負担増は大きな問題だ

▼▼▼藤ノ木浩子 議員

「応益負担」に耐えきれぬのか

問 いま、年金や介護保険など社会保障制度の見直しが進むなか、障害者福祉の分野も身体、知的、精神障害を一つにまとめ、利用者に大幅な負担増を求める法案が国会で審議されている。障害者はサービス利用に応じた「応益負担」に耐えきれぬのか。また、医療費の定率1割負担は、障害者にとって影響するところか。  
 町長 低所得者にとっては、急激な負担増となることから上限を設けて対応するが、施設利用者には、食費や光熱水費が自己負担となることから大幅な負担増となり大きな問題である。医療費負担は本年

10月から自立支援医療に移行し、精神障害者通院公費は5%から10%の負担増となり、従来より厳しくなる。

介護保険見直しで軽度者はどうなる

問 軽度者が「新予防給付」に移されるとどうなるのか。

町長 新予防給付の対象者は廃用症候群の方々から選定しサービス利用認定者509名のうち、200名位を見込んでいます。軽度の施設入所者で旧措置者は5年継続、法改正後は平成21年3月まで入所可能。



封筒づくりをしている利用者と実習生



矢祭町工業団地予定地視察

町制施行50周年の節目、津南町は平成の大合併はしない、自律の町を歩み出しました。自律元年、総文委員会では全国でもいち早く、国が押しつける市町村合併に賛意することなく、合併をしない矢祭町宣言を決議した福島県矢祭町と、町づくりの基本、主役は町民、町民が主体的に参加行動し、力を合わせた町づくりが進められている三春町へ視察研修を行いました。

矢祭町では平成13年10月に宣言をし、自己決定、自己責任による、小さくても独立独立歩の町づくりを進めていく道を選択しました。職員8名からなるプロジェクトチームは様々な議論を経て、まず行政改革を実施すべきであるという結論に基づき、子育て、教育、高齢者福祉、雇用の確保の4本柱を重点に進められています。

工場の誘致、生活の安定、人口の増加に特に力を入れていました。町は274区画の宅地造成をし、すでに227区画が販売済みで住宅が建設されていました。雇用の面では第一、第二工業団地があり、現在1000人からの雇用の場となっていました。将来第三工業団地として2000人規模の工場誘致にも目処がつき、団地造成も進んでいることに感銘するものでした。

少子化対策では、改革により浮いた財源を子育て支援にという職員の声で、第3子から100万円を支給するなど、の対応も参考となりました。

三春町も合併をしない町づくりが進められていました。町では7つの町づくり協会が組織されており、活動支援金として平成16年度は789万円の予算が配分されていました。町づくり協議会の自治活動が力を合わせ活発に行われているのです。津南町も10年後1万3千人の人口を目指した町づくりが求められます。中身の濃い視察でありました。

委員長 草津 進



小牧沢川、復旧工事後



町道山伏山線の隔雪災害地

## 産業建設

### 災害復旧の成果巡視

昨年は水害、地震、大雪に見舞われました。委員会では震災復興状況や融雪災害、町道改良状況の成果巡視を行いました。(6月1日)

地震により大きな災害が発生した小牧沢川(写真)では復旧工事も完了していました。水害による被害は現在復旧作業が進められていました。また、本年は19年ぶりの大雪に見舞われ、各地で田、道路、落石等被害が発生しており、早期に復旧を願うところですが、町道改良は順調に進められており、今後も新規事業も含め、順次進めてもらいたいと思います。

管外視察は7月に予定しています。

委員長 吉野 徹

## 国保滞納者への対応は

町長 国保は相互扶助、理解と協力を

吉野 徹 議員



手厚い子育て支援を

国民健康保険の収納対策は

問 健康保険料の収納未済額の急激な増加及び滞納繰越金の収納率が低下している。生活が厳しく困っておられる方々の増加と考える。

町長 保険料滞納者増大のなかで、収納対策と未納者に発行する短期保険証と資格証明書の位置づけは、  
町長 収納については納税者の計画的支払い方法を模索し、納税相談を実施している。短期保険証、資格証明書発行については慎重に取り組んでいる。国保は被保険者の相互扶助により成り立つ制度であり、被保険者の協力なくしては成り立たない制度である。

出生率低下と子育て支援策は

問 次世代育成支援法に基づき、町における少子化、子育て支援対策と、結婚対策における環境づくりや、若者雇用対策は、

町長 少子化支援策として出産育児一時金、幼児医療の無料化を進めており、若者配偶者対策にも取り組んでいる。対象者における意識改革が重要である。積極的出合いの場に参加を望む。  
雇用対策では、関東雇用創出機構との連携のなかで活用していきたい。

拡大生産者責任制度実施の運動を

問 津南町民は1人当たり毎日1,063グラムのごみを排出し、56円50銭の処理費用建設費を含むをにかけている。ごみの半分を占める生ごみの堆肥化はできないか。

町長 全町的な生ごみの堆肥化は体制整備が必要だ。コンポスト等による個別の堆肥化の協力をお願いしたい。  
問 生産者が製品のリサイクルや廃棄の費用も含めた責任を持つことで、生産者が設計の段階から回収や廃棄、また減量を考えることになる。拡大生産者責任制度実施の運動を進めるべきだ。  
町長 ごみを減らす仕組みのない現状で、リサイクルのシ

## 有料化では「ごみ」は減らない

町長 有料化はさけて通れないのでは

大口 武 議員

STEMを抜本的に見直す国の考え方が重要だ。日本は生産者段階からの対応が欠けている。国に提言していきたい。

問 津南のまちづくり報告では有料化の方向が示されている。有料化した多くの自治体は数年でごみは増加しているのが実情で、お金さえ出せばいくらごみを出してもいいという意識も生まれる。有料化は減量にならないのでは。  
町長 有料化は避けて通れないと思うが、有料化によるごみの減量は疑問。行政負担の軽減とごみ処理に金がかかることを理解願いたい。検討課題だ。



有料化でゴミは減るのか



シリーズ・町民の声  
**私をひと言**

## 「憧れの町津南をめざして」

芦ヶ崎 涌井まどか



今年5月5日、友人に誘われて行った小笠原流家元のセッションですてきな出会いがありました。場所は長野県小布施町、私の憧れの町。小布施にはシーズンはなく、一年を通して国内外からの人々であふれています。

30年前、小布施と津南の青年部は共に町の未来を危惧し、夢と希望を語り合ったと言います。いま、小布施は町おこしに成功し、更により良い町へと住民一人ひとりが目を輝かせています。

例えば「フラワーガーデン」お花好きな主婦が「街がきれいになるといいな」と庭で増えた株を街の片

隅に植えた事から始まったそうです。住民の小さな想いの積み重ねが町を創っていくようです。

津南は小布施と並ぶだけの可能性をもった町だとおもいます。育ててもらった津南が憧れの町、みんなが潤う町となるのが今の私の夢です。

私は小さな力しかもっていないけれど「憧れの町、津南」目指して……

## 「自然」

芦ヶ崎 内山由美子



津南に来て14年、四季折々が美しく、いまだ毎日が発見、感動の旅行気分の私です。豪雪の地だからこそ水が美味しく、水が美味しいからお米やお酒が美味しい。花色や葉色のみずみずしさは、都会の緑とは比べものにならないほど格別美しい。そして、住む人々の「生きる姿勢」。物を大事にし、無駄なく生かす生活の知恵に、いまでも感銘を受けることが多々あります。ただ津南に来たばかりの14年前を思い返してみると、自然はもっともっと美しかったように思うのは私だけでしょうか。この14年で津南も道路等が整備されとても便利になった反面、自然が少しずつ壊れていきつつあるのかな？とそんなふうに思ったり

もします。

世界的にも「地球温暖化」「地震」「異常気象」と地球は悲鳴を上げています。

自然を壊すことなく、便利で快適な生活を手に入れることが出来るはず。「古き良きもの」を残し、「新しきもの」を取り入れ自然を活かし、自然と共存する町づくり、一人ひとりが気をつけることは勿論ですが、町政策にも活かしてもらえたらと思っています。

編集後記

津南高校の中等教育学校開校、学校統合問題、後継者、配偶者不足、クオータ制の導入等々、町議会を取り上げられた多くの問題の根底には少子高齢化という、日本の歴史上初めて遭遇する大きな問題があります。経済優先の思想から、人間性回復思想が始まっています。自然豊かな農業立町の津南町をもっと多くの人が知っていただき、日本人のふるさととして、多くの人が訪れたいくなるようなものもなしが出来、より心豊かな町であれば人口13,000人の自給計画も早期達成が可能ではないでしょうか。  
(富沢)

